

第6分科会 第7回運営委員会記録（概要）

平成17年12月3日（土）

午後3時10分～4時45分

新宿清掃事務所会議室：（進行）高野座長

1 参加委員（敬称略）

- ・区民委員：（1班）入江雅子、小宮一夫（2班）稲葉佳子、河村寛二（3班）梶村勝利、森田優子（4班）植木康次郎、中山一郎（5班）竹折富美子、森田忠幸（6班）高野 健、西山（代理）（7班）鈴木幸展、尾上好美
 - ・学識委員（三田、伊藤、土屋）
- 計16名

2 議 題

- （1）「中間発表会WG第1回打ち合せ内容」の報告
- （2）区民提言の中間発表の作成について
- （3）まとめの作業(起草活動)について
- （4）懇親会の開催について

3 決定事項

（1）次回の分科会の内容について

- ・次回は、同じテーマで検討する。具体的に何をしていくのかは、「ポイント」を明らかにしていく。
- ・起草委員は、各班から1名を選出することとし、次回会議で決めてもらう。
- ・次回の進行役は、4班？

（2）懇親会について

- ・来年1月の第13回会議後に引き続き、開催するものとする。
- ・時間設定や内容については、今後詰めていく。
- ・ノンアルコールで、費用がかかる場合は会費制とする。

4 とりまとめ（中間発表⇒提言）に向けてのイメージ選択

[おさらい] これまで、《現状・課題》、《問題点》からスタートし、《10年後のあるべき姿》（※漠然と大項目、基本構想に相当）と、《改善方法》（※中項目、基本計画に相当）として検討してきた。

★今後、下記の[A]または[B]のどちらをゴールとして見据えて進めていくのか？

テーマに関する「区民の視点での意見」から・・・・・・・・

[A] 基本構想・基本計画の各々の大・中・小の項目の追加や削除をしていく

⇒現在の構想や計画等の内容を十分に把握する必要

[B] 意見を分類して「整理」または「文章化」していく

⇒意見の合意形成や現状認識の再確認が必要

※「整理」例：10年後の姿（基本構想）または改善方法（基本計画）への分類
意見のジャンルによる分類（行政に対して・区民に対して）

5 発言内容等（抜粋）

- ・提言は生活者視点だけでよいのか？行政の体系を考えて提言していかなければいけないのではないか。どういうふうにまとめていくのかは全員で検討したい。
- ・まとめ方（手続き）と、だれがやるのか（実態）の議論がある。
- ・今までやってきたことは、現状から改善方法までの提案。最終的には、行政体系に基づいて提言することになると思う。
- ・今までの意見を分類、整理し、行政の計画体系の中の大項目、中項目、小項目といった段階とどう対照させていくのか。中間発表はどうしていくのか、今、そういう時点にきている。
- ・伝統的に行政が策定してきた計画に、区民が生活者の視点で考えてつくっていくのは画期的なことになる。
- ・とりまとめは、中間の発表までは、「B」で進め、提言に向けては「A」としていった方が現実的ではないか。
- ・中間発表は提言までの過程であるから「A」を見据えて、とりまとめをしていったほうがよいのではないか。
- ・「A」にすると、構想やマスタープランの評価や検証が必要になる。起草委員個人にそれを委ねていいのか。
- ・提言のイメージをどのように持つか。「B」でまとめ、それを「A」に分類し直していくということを、予め認識するとしなければ相当違ってくる。
- ・抽象論はよくわかるが、具体的どのように進むべきかがわからない。
- ・生活者の視点で帰納的に基本構想までもっていく。
- ・起草委員の役割は、運営委員が担うことまでは決まっていない。負担も大きい。
- ・多文化共生や地域安全の班の意見をまとめてみたが役に立った。まとめてみることで、今後の提言に役立っていく。みんなもやってみたほうが良い。
- ・運営委員会でのこういう検討を踏まえていないと、班や委員にもレベル差や理解度の違いが相当ある。起草も大変ではないか。
- ・起草は、今までの意見の集約なので、読み替えて分かりやすく、表現することはあっても起草委員個人の意見は入れないこと。
- ・起草作業は、1つのテーマを一人、二人、三人、1つの班といった分担もある。
- ・起草作業は、できるだけ人数を絞って、まとめと内容のチェックという体制もある。提言時はまとめとチェックのメンバーを入れ替える。
- ・起草作業が得意な委員もいるかもしれないので、再度、全体会や班に持ち帰って相談してもよいのではないか。
- ・協働・参画は、資料が多すぎて消化不良を起こしている。当日、何をやるのかポイントを示して欲しい。議論する時間が欲しい。

6 次回の運営委員会

- ・分科会終了後、12月17日（土）午後3時から4時40分（予定）
- ・新年1月の分科会（第13回：1月21日）前に運営委員会を開催予定。